

## 2020年度第1回札幌競馬特別レース名解説

### <第1日>

#### ○ 利尻特別

利尻（りしり）は、稚内の西方に位置する火山島。中央部にある標高1721mの利尻山を中心に、円錐状の形をしている。利尻山麓には水場の甘露泉水がある。名はアイヌ語の「リイ・シリ（高い島）」に由来する。

#### ○ 大倉山特別

大倉山（おおくらやま）は、札幌市北西部の山。スキーのジャンプ台「大倉山シャンツェ」は、昭和47年に開催された冬季オリンピック札幌大会でジャンプ競技の舞台となり、現在も国際大会が数多く開催されている。

#### ○ しらかばステークス

しらかば（白樺）は、カバノキ科の落葉高木。シラカンバともいう。本州中部の高原から北海道にかけて広く分布している。樹皮は白く、葉は三角状卵形で先は尖り、縁には鋸歯がある。春になると雄花穂が小枝から下垂する。樹は庭木になり、樹皮は天然の着火剤にもなる。

### <第2日>

#### ○ HTB賞

HTBは、札幌市に本社を置く北海道テレビ放送の略称。昭和43年開局で、ANN（テレビ朝日）系列。本競走は、同社より寄贈賞を受けて実施されている。

#### ○ 知床特別

知床（しれとこ）は、北海道北東部、オホーツク海に突出する半島およびその一帯。名は、アイヌ語の「シリエトク（地の果て）」に由来する。平成17年に半島とその沿岸海域がユネスコの世界自然遺産に登録されている。

#### ○ 報知杯大雪ハンデキャップ

大雪山（だいせつざん）は、北海道中央部の火山群。御鉢平（おはちだいら）カルデラを囲み、最高峰の旭岳・北鎮岳・白雲岳などから成る。日本一早い紅葉の名所として知られ、9月から見頃を迎える。

報知新聞社は、東京と大阪に本社を置く新聞社。本競走は、同社より寄贈賞を受けて実施されている。

## <第3日>

### ○ 礼文特別

礼文（れぶん）は、稚内の西方に位置する島。標高 490m の礼文岳を最高点とする丘陵と海岸段丘からなる比較的平坦な島で、面積約 82 km<sup>2</sup>。東南の利尻島などとともに利尻礼文サロベツ国立公園に属する。約 300 種の高山植物が分布しており、夏には多くの観光客が訪れる。

### ○ 阿寒湖特別

阿寒湖（あかんこ）は、北海道東部、阿寒カルデラ内にある湖。雄阿寒岳、雌阿寒岳の山麓に広がり、周囲約 30km で美しい菱形をなす。全域が阿寒摩周国立公園に囲まれ、平成 17 年にラムサール条約登録湿地となった。また、同湖に生育するマリモは、昭和 27 年に国の特別天然記念物に指定された。

### ○ STV 賞

STV は、札幌市に本社を置く札幌テレビ放送の略称。テレビは昭和 34 年開局で、NNN（日本テレビ）系列。ラジオは 37 年開局で、NRN（文化放送・ニッポン放送）系列。本競走は、同社より寄贈賞を受けて実施されている。

## <第4日>

### ○ 積丹特別

積丹（しゃこたん）は、北海道西部、日本海に突出する半島。また、同半島先端部を占める町。名は、アイヌ語の「シャクコタン（夏の村）」に由来する。沿岸一帯はニセコ積丹小樽海岸国定公園に属する景勝地。古くから漁業が盛んで、北海道を代表する民謡「ソーラン節」の発祥地と言われている。

### ○ ポプラ特別

ポプラ（poplar）は、ヤナギ科の落葉高木。幹は直立し、成木の高さは約 20m に達する。日本では主に街路樹や庭園樹に用いられている。花言葉は「敏感」「勇気」。

## ○ 北海道新聞杯クイーンステークス（GⅢ）

本競走は、昭和 28 年に創設された重賞競走。当初は東京競馬場の芝 2000m で 3 歳牝馬限定戦として実施されていたが、平成 12 年より開催場が札幌競馬場に移され、出走資格も 3 歳以上牝馬限定戦に改められた。

クイーン（Queen）は、「女王」「王妃」を意味する英語。

北海道新聞社は、札幌市に本社を置く新聞社。本競走は、同社より寄贈賞を受けて実施されている。

## ○ 札幌道新スポーツ賞

道新スポーツは、北海道新聞 HotMedia が発行しているスポーツ紙。本競走は、同社より寄贈賞を受けて実施されている。

## <第 5 日>

### ○ 北辰特別

北辰（ほくしん）は、北極星の異称。北辰旗と呼ばれた北海道開拓使の旗には、北極星をイメージした赤い星が描かれている。建物を建てる際にも同様の星が使われており、札幌市時計台や北海道庁旧本庁舎に見ることができる。

### ○ 桑園特別

桑園（そうえん）は、札幌市のほぼ中心部に位置する地区。北部には札幌競馬場、南部には知事公館や道立近代美術館などがある。

### ○ 札幌日経オープン（L）

日経は、東京と大阪に本社を置く日本経済新聞社が発行する日本経済新聞の略称。本競走は、同社より寄贈賞を受けて実施されている。

## <第 6 日>

### ○ ライラック賞

ライラックは、モクセイ科の落葉低木。成木の高さは約 6m になり、春になると枝先に白色や紫色の多数の小花を円錐状につける。ヨーロッパ原産で日本へは明治中期に輸入され、その日本最古のライラックは北海道大学植物園に現存している。また、札幌市の木に選ばれており、毎年 5 月頃には、大通公園でさっぽろライラックまつりが開催される。花言葉は「初恋」「青春の喜び」。

## ○ HBC賞

HBCは、札幌市に本社を置く北海道放送の略称。ラジオは昭和27年、テレビは32年開局でTBS系列。本競走は、同社より寄贈賞を受けて実施されている。

## ○ エルムステークス（GⅢ）

本競走は、平成8年に『シーサイドステークス』の名称で創設された重賞競走。第1回は函館競馬場で実施されたが、9年に札幌と函館の開催日割が入れ替わったことに伴い、札幌競馬場での開催となり、『エルムステークス』に改称された。

エルム（Elm）は、ニレ科ニレ属の植物の総称。日本ではその中でも特にハルニレを英名（Japanese Elm）からエルムと呼ぶ。ハルニレは沖縄を除く日本全土に分布するが、特に北日本に多く、街路樹や公園樹に用いられている。花言葉は「信頼」「高貴」。